

種子小麦の生産支援

活動対象：JAふらの麦採種部会上富良野支部22戸

近年、倒伏や病害発生で良質種子生産がやや不安定であるため、種子小麦ほ場の全戸全筆合格を目標に、①生育確認と助言、②秋まき小麦病害発生を抑止にかかる生産支援を行った。その結果、ほ場審査では秋まき小麦22戸中20戸が全筆合格、春まき小麦は全戸全筆合格した。また、R4年産の倒伏防止対策として植物成長調整剤「サイコセル」の検証を行った。

1 課題の背景

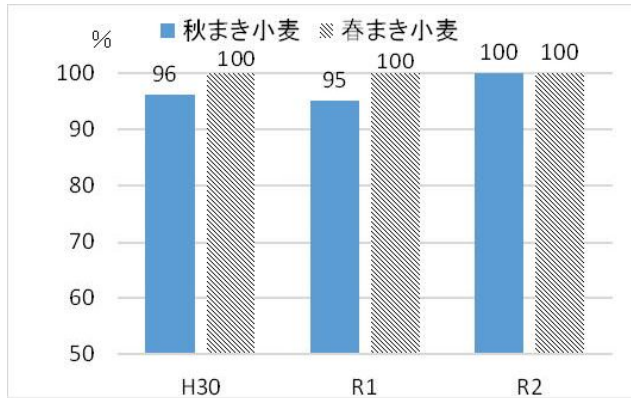


図 種子ほ場の合格率（ほ場審査）
（麦採種部会上富良野支部実績）

課題：小麦良質種子の安定生産（近年、倒伏などで種子ほ場全筆合格が不安定）



計画：ほ場環境、栽培管理の助言を行い、種子生産農家全戸全筆合格を目指す。

2 活動の経過

(1) 生育確認と助言（5～8月）

- ・ 定点調査ほを設置し生育を確認(2戸)
- ・ 巡回で生育情報提供、ほ場環境・栽培管理助言(22戸)
- ・ 代表ほ場6筆で穂水分測定し、収穫時期を予測

(2) 秋まき小麦病害発生を抑止

- ・ 4年産に向け有効薬剤散布の全戸推進（8月）
- ・ なまぐさ黒穂病及び雪腐病防除指導と散布状況の把握（11～12月、22戸）

(3) 倒伏軽減資材「サイコセル」の採種ほ場での検証試験

- ・ 生育、長稈抜き取り精度確認（5～7月）
- ・ 検証試験結果提示（12月）



ほ場環境、栽培管理の助言

3 活動の成果

(1) ほ場審査

- 秋まき小麦（作付け22戸）
→ 20戸全筆合格
（目標到達91%）
- 春まき小麦（作付け14戸）
→ 14戸全筆合格

(2) 病害防除意識が向上

- なまぐさ黒穂病、雪腐病防除の意識が向上



全戸防除の実施

(3) 採種ほ場での「サイコセル」検証試験結果を提示

- 長稈抜き取り作業への影響はなし。実用の根拠データを提示し、4年産の倒伏軽減対策として提案できた。

4 今後の課題

秋まき小麦採種農家の全筆合格支援